

第 3 回	空港施設と機能② ・ 空港に付帯する施設について ・ グループワーク
第 4 回	空港施設と機能③ ・ 空港の利用者 顧客満足 ・ グループワーク
第 5 回	航空機の設備と機能① ・ 航空機の歴史 ・ 飛行機の基本構造 ・ グループワーク
第 6 回	航空機の設備と機能② ・ 機内の設備 ・ グループワーク
第 7 回	日本の航空会社の歴史と概要 ・ グループワーク
第 8 回	世界の航空輸送の発展① ・ 世界の航空輸送の歴史 ・ 世界の航空輸送の枠組み ・ アライアンス ・ グループワーク
第 9 回	世界の航空輸送の発展② ・ グループワーク発表
第 10 回	エアラインに関連する会社とその業務① ・ 航空運送関連領域の業種について ・ グループワーク
第 11 回	エアラインに関連する会社とその業務② ・ 航空運送関連領域の業種について ・ グループワーク発表
第 12 回	安全への取り組み
第 13 回	航空貨物の現状 ～北九州空港の事例～
第 14 回	空港演習 学外活動あり
第 15 回	講座のまとめ 「エアラインビジネス」で学ぶことの概要
テキスト	特に指定しない。必要に応じてクラスルームにアップする。
参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介	エアライン・マネジメントー戦略と実践ー 日本航空株式会社 インプレス エアラインオペレーション入門 (株) ANA 総合研究所 イカロス出版 エアラインビジネス入門 第2版 稲本恵子編著 晃洋書房

課題に対するフィードバックの方法	授業後レポートは、次の授業内でフィードバックする。 グループワーク発表についても、授業内でフィードバックする。 小テストは採点后、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	「エアライン」について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。 「空」を舞台とする航空業界は、様々な業種で成り立っています。安全を大前提に、各社が独自性を追求しながら、人と人、地域と地域を結ぶ、関係つながり創出する業界であるといえます。そこには出会いと別れがあったり、人の想いが動く業界でもあります。 この講座では、空港や航空会社について、多くのグループワークを通して全体像をつかみ、エアラインビジネスを学ぶ上での基礎知識を習得しますが、 グループワークを多く取り入れているため、PC、タブレット端末等を持参することを推奨します。 また、日頃から航空業界に関心を持ち、上記参考図書や、新聞、インターネットなどから、自ら情報を取りに行く習慣をつけていきましょう。 ※第 14 回の空港演習は、日程が変更になる可能性もあります。 みなさんと一緒に、「エアライン」について学んでいくことを楽しみにしています。

